

1. 代ゼミ入学期編

- ① 代ゼミに来る前は、生物はどんな科目だと思って、どんなふうに勉強していましたか？
また生物は得意だったか苦手だったかを書いてください。それから「物理選択で全然勉強していなかった」なんて場合もあるでしょう。それならばそれを書いてください。

ひたすら暗記をする科目だと思って、問題集を何度も繰り返して答えを覚えていました。生物が好きだったので、教科書よりも深い知識が載っている資料集を読み込むこともしていました。自分の中では得意な科目だったと思います。

やはり・・・多くの学生は「ひたすら暗記をする科目」と思っていますよね。でも資料集を読み込んでいたとは、“通”ですねえ(^。^)

- ② まわりの友人たちなどはどんなふうに勉強していましたか？

周りの友人たちも同じで、問題集をひたすら繰り返して暗記中心の勉強をしていたと思います。

- ③ この時期は何大学の何学部を志望していましたか？

現役受験のリベンジである千葉大学の看護学部を志望していました。

リベンジ、頑張っていきましょう。一年間よろしくお願いします。

- ④なぜ代ゼミを選んだのですか？

実家から通える場所にあることと、高校の友人が多くいるために自分のメンタルバランスが整いやすいと考えたからです。

予備校選びは人それぞれですね。「友達がいるから互いに切磋琢磨できる」という学生さんもいるし、「知り合いがいないところで頑張りたい」という学生さんもいますね。「どちらがいいか」というものではなく、自分はどちらで決めますか。

⑤なぜ大堀の生物を選んだのですか？

私はノートに書くことで覚えられるタイプだと考えているため、板書の授業が受けたかったからです。また、高校の先輩から大堀先生の授業はわかりやすく面白いと勧められたからです。

大堀の講義は、たしかに板書が多めです。以前に比べるとずいぶん減らしたんですけどね。「わかりやすく面白い」、とてもうれしいですね。

⑥ 大堀の講義を受けたときの、最初の印象はどうでしたか？

ランダムに指名されるのでドキドキしていました。緊張感を持って勉強したかったので、前の方の席で授業を受けていました。答えられなくても、わからないことに対して丁寧に対応してくださったり、「来年は受かろうな」と前向きな声掛けをしてくださって嬉しかったのを覚えています。

「ランダムに指名されるのでドキドキしていました」。そう、これです。これが大堀の講義です。一方通行の講義はしません。ちゃんと君らにも参加してもらいますよ～(^。^。「答えられなくても丁寧に対応してくださったり」とありますね。学生に質問することで、こちらも学生の弱点を知ったり、自分の説明が足りていない部分がどこかを知ることができるのです。学生さんたちに質問することで、丁寧な説明もできるのです。

⑦ この時期の予習・復習はどうしていましたか？(時間配分、他の科目との兼ね合いなど)

英語と数学の予習が重くて生物の予習復習時間はあまり取れませんでした。授業前に、前回のノートとテキストをザッと見返すことと、授業中の理解を意識していまし

そうそう。毎日英語と数学の予習・復習が大変ですよ。生物の勉強なんてしてられない。それでいいのです。理系の入試は英語と数学で決まると言っても過言ではないのですからね。

2. 1 学期編

① そろそろ大堀の講義にも慣れてきたころ。大堀の講義をどのように感じていましたか？

大堀先生の講義を受けて、今までいかに自分が暗記だけの浅い勉強をしていたかに気が付きました。単語は既に身につけていた自分にとって、現象の仕組みや働きを順序だてて学べる講義がピタリとはまっている感じがしていました。

いいことに気がつきましたね。「生物は暗記だけじゃない」ということですね。生物の学習は、まず暗記する(←したがって暗記は絶対条件ですよ)。そして、その暗記して習得した細かい知識どうしをつなぎ合わせて、大きな1つの知識にする。あなたは暗記は終わっていた。あとはそれらをつなぎあわせるだけ。ちょうどいい時期に大堀と出会いましたね~(^ 0 ^)/

② この時期はどのように生物を勉強していましたか？

大堀先生の授業ノートを見返しながら、問題演習に取り組みました。単語の説明が出来るかどうか意識を向けて、曖昧な部分を残さないように勉強するように心がけていました。

「単語の説明ができるかどうか」。とてもいい視点ですね。知識論述問題の対策につながっていますね。

③ 模試の成績など、生物の成績はどのように推移していましたか？

自信を持って解答できる問題が多くなったという実感が徐々に持てるようになっていきました。

それは暗記した細かい知識どうしがつながって、大きな知識になりはじめた証拠(^。^)。

3. 夏期編

① 夏期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ いつごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ その講座をどのように活用しましたか？

「大堀求の生物(腎臓・生体防御・神経・個体群・相互作用)」と「大堀求の生物(生態系・進化・系統分類)」の2つを受講しました。その講義内容は2学期の先取りでした。わたしは、2学期が終わる前の時期から問題演習に取り組もうと考えていました。そのためには、少しでもはやく知識を固める必要があります。そこで、これら2つの講座を受講しました。

そうです。夏の間には2学期の範囲もやっておくと、その後の勉強がスムーズに進むのです。

生物の「1年間」の勉強法

- 1学期は予習も復習もできません。これは英数が忙しいからです。
- 夏期は1学期の復習と2学期の範囲の予習です。つまり、夏の間には生物の全範囲を終わらせておくのです。
- 2学期は、大堀の講義を復習として受講しましょう。
- 冬期は直前期。問題練習に集中しましょう。

② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

1学期の範囲は授業ノートを何度も読み返して復習を行いました。2学期の範囲は夏期講習の授業を中心に学習していました。

「2学期の範囲は夏期講習の授業を中心に・・・」。いいですね。大堀オリジナルの夏期講習会講座は、2学期の難しい範囲を全て網羅していますからね。

③ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

1学期の学習内容がほとんど固まって、大堀先生の講義で既に学んだ範囲と、まだ学んでいない範囲の点数の差が顕著に現れるようになりました。

いい調子です。大堀に習った範囲では、知識の融合が進んでいますねえ(^o^)

4. 2 学期編

① 夏期の学習が2学期にどのように影響を与えましたか？

夏期講習の内容が二学期の講義の先取りだったため、二学期の講義は夏期講習の復習になり、夏期講習で分からなかったところを確認することが出来ました。

前記したとおり、夏に生物の全範囲を終らせておけば、2学期の学習がスムーズに進みますよね。

② 2学期の範囲の学習と1学期の範囲の学習の兼ね合いはどうでしたか？

二学期が始まると二学期の勉強で忙しくなり、一学期の範囲の復習は思うように進みませんでした。一学期の授業ノートは常に持ち歩き、問題演習をやって分からないところがあったら、その都度ノートを見返すようにしていました。

そうなんです。2学期は2学期で忙しくて、1学期の範囲には手が付けられないのです。夏の間に、いかに1学期の復習を終らせておくかが重要となってくるのです。

③ 夏期講習講座の復習はどうしましたか？

二学期の講義に、夏期講習のテキストを持ち込み、夏期講習で学んだことを思い出しながら二学期の講義を受けていました。

いいですね～。真剣に講義を受けていますね。がんばれがんばれ！！

④ センター試験対策はどうしたか？ いつ頃始めましたか？どのようなことをしましたか？

センター試験のためだけの対策はまだしていませんでした。

⑤ この時期の成績の推移はどうでしたか？ 模試の成績など。このころ感じた不安などありましたか？

私は実験考察問題に苦手意識を持っていました。過去問演習中でも年度によって点数のバラつきがあり、不安を感じていました。

実験考察問題は、できてしまうときにはあっさりと、できないときはとことんできなかつたりしますよね。あんていしてできるようになるには、やはり練習しかありません。

5. 冬期編

① 冬期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ izzごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ その講座をどのように活用しましたか？

直前期にやらないといけないことを増やして焦るのを防ぐために、冬期講習講座は取りませんでした。自分で過去問を解いたり、授業ノートを活用しながらワークを繰り返していました。

代ゼミは講習会の受講を強制しません。受講するかどうかは自分で決めましょう。「こきが弱点だから、この講義を受講してそれを埋めよう」というように、考えて受講しましょう。よくないのは「まわりの友達が受講するから」というような理由で受講すること。

② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

国立大学二次試験の生物の問題が集められている問題集に取り組んでいました。時間を決めて問題を解き、解けなかった問題の復習を徹底的に行いました。復習の際に、大堀先生の授業ノートを利用しました。千葉大学の生物は、遺伝の分野が毎年出るのにも関わらず、私は遺伝の分野に苦手意識を持っていたので、遺伝の問題集を1冊買って、その問題集にも取り組みました。

「時間を決めて問題を解き」「解けなかった問題の復習を徹底的に行う」。勉強法の基本中の基本ですね。いい調子です(^。^)

④ 模試など、成績はどのように推移していましたか？

様々な応用問題に触れたおかげで、問題の形式が違ってても、焦らずに問題の意図を汲み取れるようになっていきました。

1年間の頑張りがだいぶ実を結んできたようですね。あともう1ふんばり。

⑤ センター試験の対策はどうしていましたか？

センター試験のためだけの対策はまだしていませんでした。

6. 直前期編

① 1・2月の生物の学習はどうしていましたか？

1月は毎日1年分ずつ、時間を計りながら、赤本の本試験と追試験を解いていました。この時、時間を計りながら取り組み、本番を意識することを心がけていました。また、センター試験特有の実験考察問題が抜粋されている問題集にも取り組んでいました。

そうそう。1月はセンター試験対策ですね。国公立の場合、センター試験でこけると、二次での挽回はまず無理ですからね。

2月は2日に1回のペースで千葉大学の10年分の過去問を解きました。最初に時間を計って解き、答え合わせをする前に、もう一度時間を図らずに解いて、納得のいく解答を自力でつくる練習を積み重ねていました。

「まずは時間内に解く」、「次に時間をかけて解く」というのはとてもいい勉強法。「時間をかければ解ける」のであれば、同様の問題を何題も解いてスピードを上げていきましょう。いくら時間をかけても解けないのは、自分に何か足りない部分がある証拠。そこを埋めていく作業が必要になりますね。

② 何大学の何学部を受験しましたか？

千葉大学の看護学部を受験しました。

リベンジ、頑張れ(^。^)/

③ 受験の前日・当日にやったことは？

受験の前日と当日は、1年分の大堀先生の授業ノートを読み返しました。全ての知識を直前に確認しておくことで、落ち着くことが出来ると考えました。受験前日は、参考書や筆記用具、昼食などの当日の準備を済ませてから、リラックスするために、宿泊先のホテルでゆっくりと温泉に浸かり、早めに就寝しました。当日は、電車の遅延で、受験時間が繰り下げになりました。集中力を切らさないように、ひたすらノートを読んでいました。

すごくどっしりと落ち着いていますね(^・^;) きっといい看護師になりますよ。そのためには合格せねば。がんばれ!!

7. その他

① 受験校・学部が決定したのはいつごろですか？

高校2年生の夏頃です。

② スランプになった時期はありますか？またそれをどういうふうに克服しましたか？

9月頃にスランプに陥り、1ヶ月ほど続きました。疲れを感じた時はありましたが、朝から自習室が閉まる時間まで必ず毎日休まずに予備校に通うという自分で決めたルールは守り抜くと思い日々を過ごしているうちに、気が付いたらスランプを克服していました。

多くの学生さんはスランプに陥ります。そうすると、「これまでのやり方がダメだったんじゃないか？」と考えて、スタイルを変えようと必死にもがく学生さんがいます。でも、「自分で決めたルールは守り抜く」というのが一番いいように思います。

③ ストレス解消法などありましたか？

毎日友達と時間を決めて一緒にお昼ご飯を食べていました。人と話すことで、気持ちが暗くなることを防ぎ、前向きになることが出来ました。疲れた日は、甘いものを買って食べたり、近くのカフェに行ったりしたこともありました。予備校から家へのバスの中では、応援ソングを聴いて気持ちを高めていました。

ストレス解消では「時間を決めて〇〇をする」というのがとても大切ですね。それと、「たまには〇〇してよい」と、自分に息抜きを与えるのも効果的ですね。

8. 大堀の講義は今、大学でも役立っていますか？

それから後輩たちへの応援メッセージなど

大学では看護の勉強をしているので、生物の内容がほとんどです。大堀先生の本質を捉えた生物の授業で知り得た知識がそのまま生かされています。

受験期は、自分の為だけに時間を使える贅沢な時間であると同時に、多くの人に支えられて生きていることを実感出来る貴重な時間でもあります。努力をすれば必ず報われるとは言えませんが、努力をせずに夢が叶うことはありません。受験前日に、やるだけのことはやり切った！と胸を張って言えるように、後悔のない1年間を過ごしてください。応援しています。

そうなんですよ。努力しても必ず報われるわけではない。でも、努力しないと夢はかなわないのです。

一年間、お疲れ様でした。そして合格おめでとう。

大学は楽しいですか？ ぜひ代ゼミに遊びに来てくださいね。大堀は、新潟は水曜日の午後、新宿本部には木・金の午後に来ていますよ。